

# 秋彼岸法要のつし案内

コロナ禍でのオリンピックの開催に複雑な思いもありましたが、アスリートのひたむきな姿、特に日本人の活躍に感動いたしました。残暑厳しい中、檀信徒の皆さまには熱中症等にはお気を付けくださいませ。秋の彼岸の時期を迎え、左記の通り、秋彼岸法要を厳修いたします。当日は手指消毒・マスク着用・座席位置等、「三密」にならぬよう配慮し、お勤めいたしますが、ご参拝にご不安のある方は、同封の振込用紙に回向名(〇〇家先祖代々または戒名)を記入してお送りくださいませ。丁重にご回向いたします。そしてコロナ終息を願い、皆さまと共に祈願いたします。

**日時 九月二十二日 (木曜日・お中日)**

**午後一時 お彼岸法要・ご先祖ご供養**

□□ナ終息祈願



「輪廻転生(りんねてんしよう)」という言葉について

輪廻転生とは、人が何度も生死を繰り返しながら生まれ変わることです。元々は、古代インドに伝わる考え方から派生したものであるという説があります。また、仏教のみならず世界各地に似たような思想があります。テレビの映像で魚が水面に浮かんだボールを尾ひれで蹴ってゴールポストに上手に何度もゴールしてる映像を見まして、この魚の前世はサッカー選手だったのかと思つたほどです。



仏教では、天界、人間界、修羅界、畜生界、餓鬼界、地獄界の6つの世界をぐるぐると生まれ変わりながら生きていくとされています。この6つの世界は、苦しみに満ちた世界であるとも考えられています。そのため、お釈迦さまは六道輪廻にいる以上、永遠に苦しみから逃れることはできないとし、輪廻を超越した浄土という場所が、極楽世界だと考えました。そしてお念仏の教え、南無阿彌陀仏と称えるものは必ず救い摂ると誓われた教えを諭されたのでした。お中日に浄土に往生されましたご先祖を偲び、お念仏をお称えしましょう。